
僕の彼女と僕の気持ち

L . L

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の彼女と僕の気持ち

【著者名】

N6302A

「・」

【あらすじ】

僕の彼女はとても難しい女の子。わがままに冷めていて不感症。なんだか付き合っているのに片思いしている気分だ。とても切ない。そんな彼女と僕の話。

僕には付き合って1年になる彼女がいる。

身長は他の女の子より大きめで瞳はくりくりしていてこれも他よりも大きめ。

とても可愛らしい。

だけど彼女は冷めている。

僕ではなく恋愛に対してだ。

だから好きとか愛してるなんて言葉を彼女に言つてもあまり意味がない。おまけに彼女は忙しい。習い事をしているせいで。

それに不感症。

彼女は愛し合つても何も感じない身体だ。

そんな色々な理由が重なつたせいか、僕達は1年付き合つて思い出が少ない気がする。

まだ高校生で若いといふのに、これはあまりにも不健康だ。普通、高校生カップルなんてものは毎週のようになにか会つたり、無駄に電話したり、周りから羨ましく思われたりするものだ。僕達の場合はそれとは正反対だ。

毎週のように愛し合つどころか会うことさえしない。

電話だつて週に一回あるかどうか。

周りには哀れに思われたりもする。

まったくとんでもない高校生カップルだ。ここまでひどいカップルは別れる直前のカップルくらいだ。

こんな事ばかり言つてゐるけれど彼女と付き合つていて思つた事はこんな事ばかりではない。

彼女とはあまり一緒にいられないけれど、離れていても安心する。

彼女は僕しか愛していないと分かるからだ。

彼女は半端な気持ちで男と付き合つたりしないし、あまり男を異性としてみていない。そのせいできちん浮気したのは前の彼女。だから浮気の心配があまりない。

これはとても助かる。

なぜなら、僕は前の彼女とは浮気が原因で別れたからだ。
もちろん浮気したのは前の彼女。

とてもショックだった。

けれど今になつて良い経験になつたと本当に思つ。

浮気された側の痛みが分かつたからだ。

これは本当に痛い。

僕は彼女にこんな痛い思いだけはさせたくない。だから僕は浮気しない。彼女の泣き顔なんて一度とみたくないからね。

僕は付き合つ前に一度だけ彼女が泣いたのを見た事がある。

彼女が泣いた理由は、僕の前の彼女が流した嘘の噂。

前の彼女は僕の好きな人のありえるはずもない話を学校で色々な人に言つた。

その頃の僕達はお互いの家で遊ぶようになつていた。

そして彼女の家に遊びに行つたとき、彼女は部屋で僕にしがみついて泣いた。

自分のせいで泣いている彼女を見て、とても辛くて、でもとても愛おしく感じた。

だって好きな人に初めて男として見られたんだ。
頼られたんだ。

弱いところを見せてくれたんだ。

幸せじゃない男なんている訳がない。

そのときに本当に心の底から彼女を好きになつた気がする。
とても愛しくて。

僕が守つてあげたくて。

だからそのときに僕が告白したんだ。

そしたら彼女が泣いたまま、

「私は冷めてるしわがままだから止めた方がいいよ。」

なんてしようもないいいわけを言つてきたから、

「俺と付き合つてからのお前は幸せ?」

つて聞いたんだ。

そしたら彼女が、

「幸せ。」

つて言つてくれたんだ。

それで付き合つたら彼女は本当に冷たかったし、わがままだった。

僕が、

「好き?」

と聞いても彼女は、

「嫌い。」

としか言わない。

良くて、

「微妙。」

だ。

最初の方は結構傷付いたが、最近では彼女の毒舌に慣れたのか何を言われても傷付いたりはしない。

なんだか逆に切ない。

だけど、彼女にいくら冷たくされても、僕は彼女との関係に飽きたり、冷めたりした事なんてないし、これからもないと言いきれる。本当に愛しているからね。

それに、もしも前の彼女みたいに浮気しても僕は彼女を許すよ。彼女を失うのだけは死んでも嫌だからね。

さつき好きか聞いても嫌いと言わると言つたけれど、一つだけ、例外がある。

彼女に、

「幸せ？」

と聞くと絶対に、

「幸せ。」

と言うんだ。

なぜかは知らないけれど絶対にそう言いつ。

僕は好きと言われるよりも、幸せと言われる方がなんだか嬉しい。言われると僕も幸せになれる。

これも、なぜかは知らないけれどそう思つ。

ちなみに彼女は結婚したくない人だ。

だから将来、僕たちが結婚する可能性はとてもなく低い。

彼女はとてもガンコだからね。

だけどじいさんになつても、僕は彼女を待ち続ける。

彼女意外の女の子と結婚したって意味がないし、なにより僕が幸せではない。

どんな美人でもだ。

なんだか付き合つているのに片想いしている気分。

だけど付き合つているのに片想いっていうのも悪くない。

いつも恋をしているような感じだからね。

僕の事を女みたいとかバカにするやつがいるかもしけないけれど、本当に相手の事を愛しているなら僕みたいになつても仕方ないと思う。

僕は本当に彼女を愛しているんだ。

言葉ではあらわせないくらい。

不満もたくさんあるけれど、愛しているという気持ちの方が全然大きい。だから彼女のどんなわがままにも付き合えるし、冷めた態度

にも我慢できる。

その分僕が心を広くするんだ。

そうすればきっと、ずっと彼女と一緒に居られるはずだ。

愛してくれるはずだ。

それだけで僕は幸せだから。

これが僕の気持ち。

(後書き)

みなさんはじめまして。感想等ありましたら是非お願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6302a/>

僕の彼女と僕の気持ち

2010年10月11日17時04分発行